

# 令和5年度 ダム工事技術者研修 実施要領

主 催 一般財団法人日本ダム協会

## 1. 目 的

本研修は、設計から施工までの実践的なプログラムを体系的に組んでおり、ダム工事技術者としての総合力形成をめざすとともに、施工計画作成の基本的な能力の向上を図る。ダム事業最前線で活躍する講師陣が、少人数制で分かりやすい講義を集中的に行うわが国最高レベルの研修である。「ゼミナール」では知識定着及び相互啓発を図り、学習成果の応用発展を期する。

また、ダム工事総括管理技術者認定試験に関わる科目においては、ダム建設全体の施工計画作成についての実力の養成を目指す。

## 2. 対 象 者

① 建設会社等においてダム工事に従事する中堅技術職員であって、大学(土木系)卒業後5年以上、又は高校(土木系)卒業後7年以上経過し、そのうちダム工事の施工に関する現場実務経験3年以上の者で1級土木施工管理技士、又はこれと同等程度の資格を有すると認められる者。

② コンサルタント会社等においてダムに関わる技術業務に関し、①と同等程度と認められる業務経験を有する技術職員。

③ 地方公共団体、水資源機構等の行政関係の職員で、ダム工事の施工に関して、①と同等程度と認められる業務経験を有する職員。

※ 定員に余裕があるときは、上記以外でも受講を認める場合がある。

3. 募 集 人 数 15名(定員)

4. 研 修 期 間 令和6年1月22日(月)～1月26日(金) 5日間

5. 申 込 締 切 期 日 令和6年1月5日(金)

6. 科 目 及 び 講 師 別紙 時間割のとおり

7. 申 込 先 一般財団法人日本ダム協会 研修事務局

担 当 : 廣 池 透

e-mail : hiroike@jdam.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル

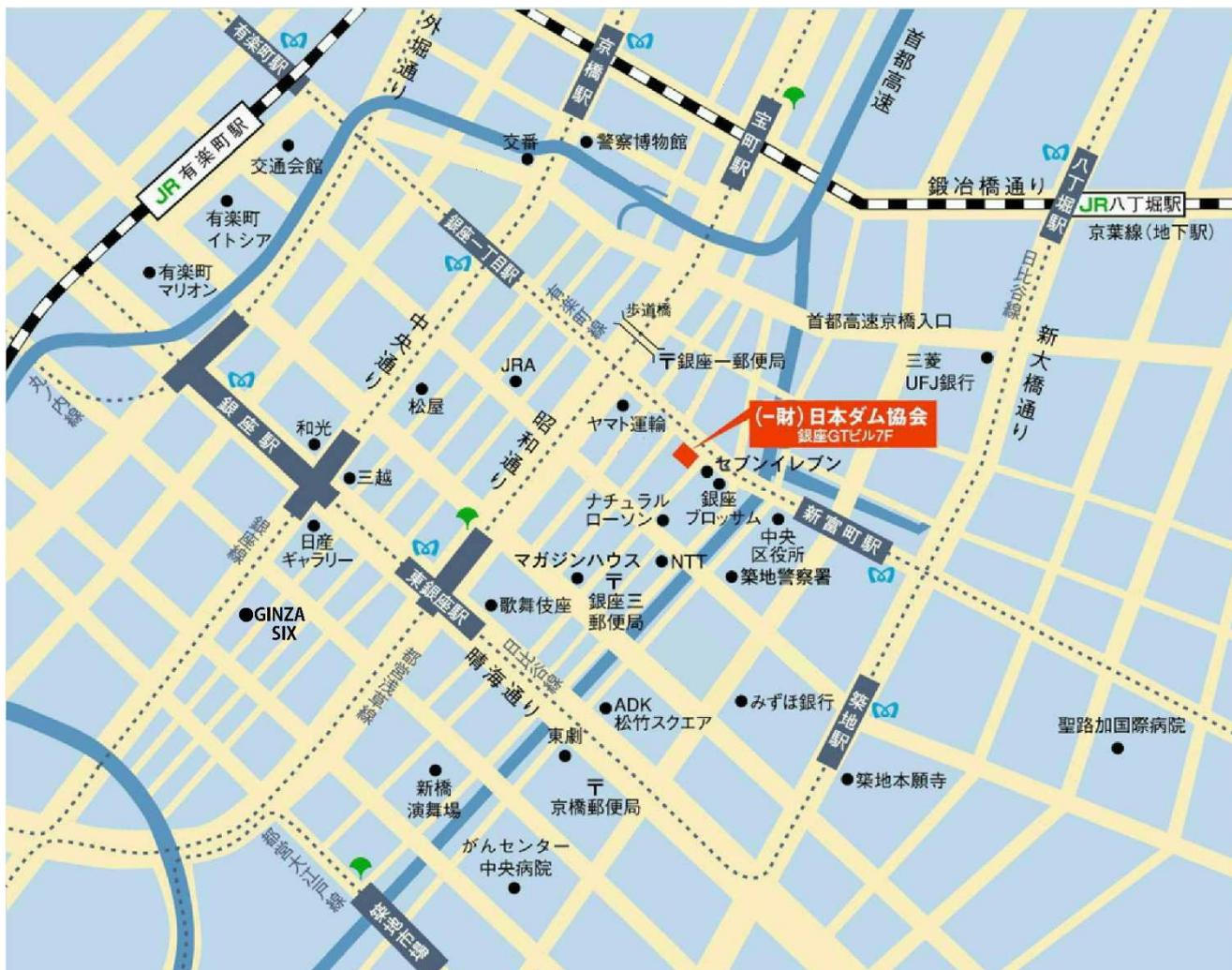
TEL 03-3545-8361 FAX 03-3545-5055

申込用紙は、日本ダム協会のホームページ(下記)からダウンロードしてください。

<http://damnet.or.jp/jdf/R5ken-offer.doc>

## 8. 集 合

- (1) 集合日時 令和6年1月22日(月) 9時  
(2) 集合場所 一般財団法人日本ダム協会 8階会議室  
〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル



### (3) 交通機関

- 東京メトロ 有楽町線新富町駅 1番出口 徒歩2分  
東京メトロ 日比谷線東銀座駅 3番出口 徒歩5分  
都営地下鉄 浅草線東銀座駅 A7番出口 徒歩5分

## 9. 研 修 費

- (1) 研修生1人当たり 80,000円 (テキスト代、消費税を含む)  
※ 令和5年度『ダム施工技術』講習会参加者は1万円引きです。  
宿泊及び食事は各自手配してください。  
(昼食については、弁当屋、コンビニ等が近くにありますが)  
(2) 宿泊費、食費及び会場への往復旅費は上記経費に含まれていません。

10. 研修費振込先 みずほ銀行 築地支店 普通預金 No. 1426905  
一般財団法人日本ダム協会  
振込手数料は、ご負担ください。

### 1 1. 持 参 品

- (1) 筆記用具、電卓、定規
- (2) 印鑑及び健康保険証等
- (3) 研修中の服装及び履物は、研修にふさわしいものを着用してください。

### 1 2. ゼミナールについて

ゼミナールでは、受講科目に関する実務上の技術的な疑問点・問題点等について質疑応答を行いますので、書面（A4タテ）で研修事務局(7.申込先)までご送付ください。

送付期限 令和6年1月12日（金）必着

質問内容については、書面のみで内容が分かるように具体的に記すとともに、必要に応じて、写真、図表等を添付してください。

また、講義全般にわたるような質問は時間の関係がありますので避けてください。

### 1 3. その他

- (1) この研修は、土木学会の継続教育（CPD）認定プログラムです。
- (2) 研修期間中、派遣者等から研修生に連絡する場合、やむを得ないもの以外は講義時間外又は郵便、e-mail等を利用してください。  
(講義中の電話の取次ぎは原則として致しません。)
- (3) 駐車場はございません。

令和5年度 ダム工事技術者研修時間割案

月日	時間	時間配分(min)	教 科 目	講 師 所 属	講 師 名
R6 1/22 (月)	9:00～9:20	20	受付 / 説明	(一財)日本ダム協会 常務理事	廣 池 透
	9:20～9:30	10	開講挨拶	(一財)日本ダム協会 専務理事	光 成 政 和
	9:40～12:20	160	コンクリートダムの設計	(独)水資源機構 総合技術センター 上席エンジニア	淵 上 吾 郎
	13:20～14:40	80	基礎処理	飛鳥建設(株) 関電笠置発電所作業所 課長	高 橋 岳 大
	14:50～17:00	130	コンクリートダムの施工と施工管理	佐藤工業(株) 土木事業本部営業推進部営業推進第二課 課長	片 岡 大 到
	計	400			
23 (火)	9:10～11:40	150	コンクリートダムの施工計画	西松建設(株) 鳥海出張所 所長	永 田 豪
	12:40～14:10	90	ダムコンクリート	(独)水資源機構 総合技術センター 上席エンジニア	木 戸 研 太 郎
	14:20～17:00	160	フィルダムの設計と堤体材料	(独)水資源機構 総合技術センター マネージャー	曾 田 英 揮
	計	400			
24 (水)	9:10～11:00	110	施工管理における最近のICT活用と今後の方向性	鹿島建設(株) 土木管理本部 統括技師長	後 閑 淳 司
	11:10～12:40	90	フィルダムの施工と施工管理	前田建設工業(株) 土木事業本部施工支援部 上級技師長	山 本 與 四 朗
	13:30～15:30	120	フィルダムの施工計画と洪水吐き	株大林組 土木本部生産技術本部ダム技術部 技術第一課長	久 保 貴 士
	15:40～17:00	80	河流処理と基礎掘削	清水建設(株) 土木技術本部 ダム統括部 主査	山 下 哲 一
	計	400			
25 (木)	9:10～11:10	120	台形CSGダムの設計と堤体材料	(一財)ダム技術センター 技術第一部長	安 田 成 夫
	12:10～13:40	90	台形CSGダムの施工計画と施工	(株)安藤・間 建設本部土木技術統括部 副部長	藤 田 司
	13:50～14:50	60	ダムの環境とダム工事の環境対策	(株)熊谷組 土木事業本部ダム技術部 副部長	沼 宮 内 雅 人
	15:00～17:00	120	ダム再生・ダム積算・海外ダム	(一財)ダム技術センター 研究第一部長	川 崎 秀 明
	計	390			
26 (金)	9:10～10:40	90	ダムの地質調査	(一財)ダム技術センター 研究第二部長	脇 坂 安 彦
	10:50～12:20	90	ダムの再開発	鹿島建設(株) 土木管理本部 土木工務部ダムグループ長	林 健 二
	13:20～14:20	60	CME Dの活動について	ダム工事総括管理技術者会 会 長	内 藤 明
	14:30～16:00	90	ゼミナール	(独)水資源機構 総合技術センター 上席エンジニア (一財)ダム技術センター 技師長 鹿島建設(株) 土木管理本部 (株)安藤・間 建設本部 土木技術統括部副部長	木 戸 研 太 郎 川 崎 秀 明 奈 須 野 恭 伸 藤 田 司
	16:10～16:30	20	修了証授与/撮影および閉講挨拶	(一財)日本ダム協会専務理事	光 成 政 和
	計	350			

※敬称略。教科目及び講師については変更する場合がございます。